

2026（令和8）年 4月 27日

法務省 法テラスの在り方に関する有識者検討会

繁華街における若者支援について
～「きみまも@歌舞伎町」の運営から～

東京都 都民安全総合対策本部

村田 陽次



ト一横問題の概要

- コロナ禍の頃から、日本有数の繁華街である歌舞伎町に多くの若者が居場所を求めて集まるようになり、「ト一横」問題として社会的に注目されている。
- ト一横に集まる若者は、**自死・自傷・薬物乱用**や**性被害**、**金銭トラブル**、**暴力沙汰**、**闇バイトへの勧誘**など様々なリスクにさらされ、実際に犯罪等に至ることも多く、そうした状況は**マスメディア**や**SNS**を通じて**拡散**されている。
- 「楽しげな雰囲気には惹かれた」「自分や家族の問題から『居場所』を求めている」「誰かがいると思った」など、**若者たちの集まるきっかけは様々だが、****「悪意をもつ大人」**が介在してくることも多い。



警察が行う補導や摘発をはじめ 地域の機関が各種対策を講じているものの、
状況がなかなか改善に向かっていないことを受け、
東京都は、さらなる対策を実施する必要があると判断

2024年5月、気軽に立ち寄れる相談窓口として「きみまも@歌舞伎町」を開設

きみまも@歌舞伎町は 東京都の相談窓口です。

新宿の「ト一横」に居場所を求めて集まる
若者たちを、専門の相談員がサポートします。



- ① **安全な場所**：歌舞伎町周辺の若者たちに、安全で、安心できる場所を提供します。
軽食や充電器、Wi-Fi、絵の道具、ピアノなどがあり、若者がひと休みできます。
- ② **相談サポート**：社会福祉士や心理士、看護師など様々な年齢・性別・専門性のスタッフがいます。
信頼できる人と雑談し、悩みや困りごとについて相談することもできます。
- ③ **セーフティネット**：若者の悩みや困りごとについて、行政機関や支援団体とともに解決を図ります。

対象者：未成年から39歳までの若者（家族の相談も可能）
利用時間：火～土曜日の午後3時～午後9時（年末年始、祝日を除く）
場所：新宿区歌舞伎町2-44-1 東京都健康プラザハイジア17階
受託業者：社会福祉法人 やまて福祉会
事業開始：2024（令和6）年5月31日



公式HP

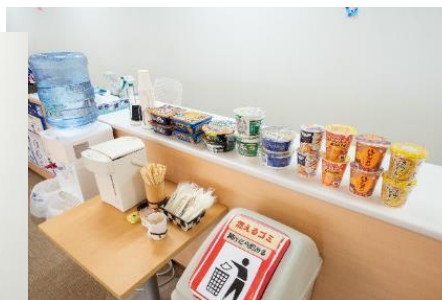


一人ひとりと生きるまち。



きみまも@歌舞伎町の特徴

- ・ 決まった相談内容がなくてもよい、何度利用してもよい、**居場所型の相談事業**
- ・ **温かい床・照明の色**やさしい日本語などの配慮、**体調不良時の救護室**も設置
- ・ **雑談から、時間をかけて信頼関係をつくり**、結果的に**若者の悩みや困難が明らかに**
- ・ 季節のイベントや誕生日プレゼントの贈呈など、**自尊心につながる機会**を提供



いきなり解決を図るのではなく、若者を一旦落ち着け、心身の回復から必要な支援につなげるための「踊り場」という位置づけ

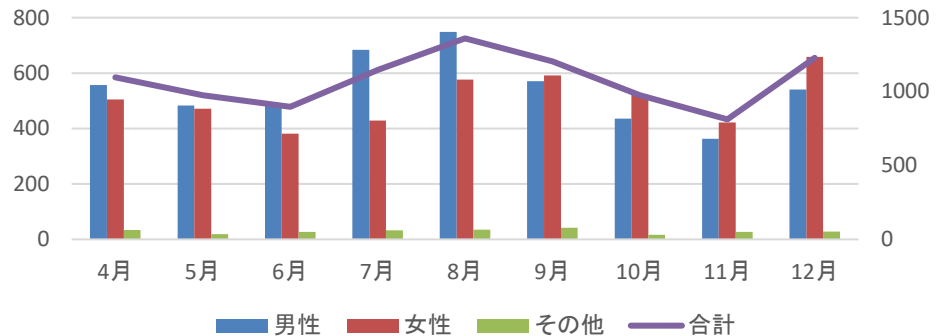
令和7年度の運営状況（来所者数）

集計：令和7年4月1日から
令和7年12月31日まで

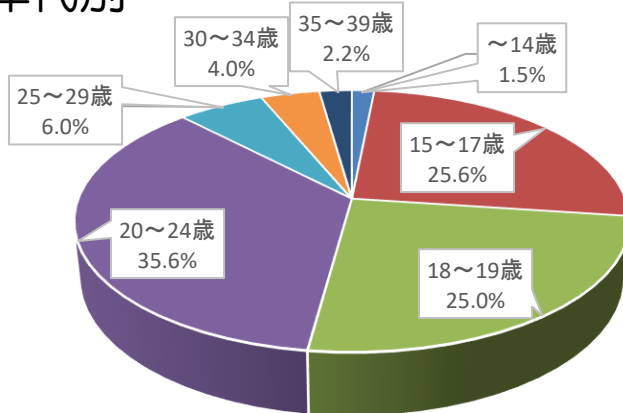
※ 数値はのべ数

・利用者数

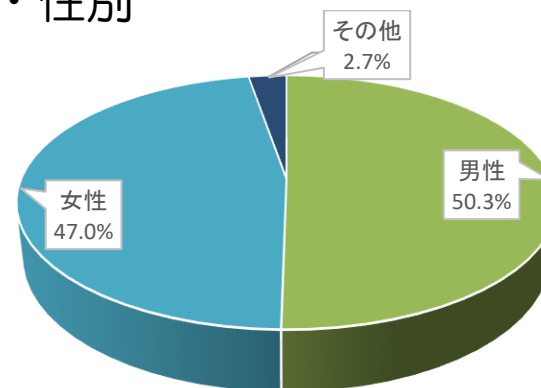
9,693人
(1日あたり51人)



・年代別



・性別



- ・ 18歳未満と18~19歳がそれぞれ3割弱、20代前半が最も多く1/3以上を占める
- ・ 男女はほぼ同数（男性は未成年が少なく、女性は未成年者が約4割にのぼる）
- ・ 居住地は都外・都内がおおよそ半々だが、全国各地から若者が集まっている

若者の困難と、きみまもの支援

多くが「地雷系」のファッションに身を包み、一見奔放に見える若者たちも、会話を重ねていくうちに、様々な困難を抱えていることがわかってくる。

- 生きづらさ（障害、虐待経験など）を抱え、市販薬の乱用や自傷行為をしている
- 家庭や学校のトラブルにより、居場所を見つけることができない
- 仕事や住まいが定まらず、安定した暮らしができていない
- 性被害や金銭トラブル、暴力など、犯罪等のリスクにさらされている

時間をかけた傾聴・助言から、必要に応じて様々な外部支援につないでいく

- 心や体の課題・・・地域の医療機関（無料低額診療や精神科を含む）
- 生活（お金、住まい）の課題・・・各自治体の福祉事務所、更生施設
- 仕事の課題・・・ハローワーク、自治体の就労支援窓口
- 女性の支援・・・若年女性を支援する団体、性被害者を支援する団体
- 安全の確保・・・各地域の児童相談所・子ども家庭支援センター、警察 など

1人で支援先におもむく力のない若者については、スタッフの同行などが必要
複合的な困難を抱えている者も多く、多機関・多職種連携が重要

これまでに対応した主な事例

他県で夫や家族から虐待を受け、土曜日の夜に歌舞伎町に逃げてきた20代後半の女性

⇒ いったん女性支援団体のシェルターにつないで保護
週明け、きみまもスタッフが、自治体女性相談窓口への保護申請に同行

継続して死にたい気持ちを訴え、時に自死の方法を示唆する20代前半の女性

⇒ 丁寧な対話とアドバイス、泊まる場所の確保、警察による保護などで対応
(後日、感謝の表明があり、その後もきみまもによる支援が続いている)

ネットカフェ泊まりなど、不安定な生活を続けてきた20代前半男性が昼職を希望

⇒ 本人の関心に基づき、自治体就労支援事業の介護職コースへの入学を調整
資格の取得、施設への就職に至るまで、生活面における助言などでサポート

母親・きょうだいと同居し、母の交際相手の暴力や母の虐待を訴えた10代後半の女性

⇒ きょうだいの安全も考慮し、ネグレクトの要保護児童として児童相談所に通告
(居住地の子ども家庭支援センターの速やかな対応につながった)

法テラスとの連携

- きみまもにおける相談は、家族の問題や犯罪被害、金銭トラブル、生活困窮など**解決のために、法的な観点からの検討や助言を要するものも多い**
- 一方、**若者の大半は法制度や弁護士になじみがなく、相談スタッフも福祉職中心**

法トラブルや権利に関する 若者への支援を強化するため、 法テラスと連携（令和7年4月～）

- 東京都と法テラスで連携にかかる覚書を締結
- 法テラスは、きみまもに**週1回程度 常勤弁護士を派遣**
- 弁護士は、相談**スタッフと同様の服装と態度で利用者に対応**し、必要に応じて**法制度等に関する助言**を行っている
- 令和8年3月からはきみまもが法テラスの「指定相談場所」となり、同4月からは法律相談への取次も実施
- **相談員への研修・助言**によってきみまもスタッフの支援力を高めるとともに、会議等の機会を通じ**情報共有**も実施



法テラス 筒木弁護士

べんごし はな
弁護士と話そう!!
どんなことでも話してみて!

お金を要求される
アルバイト?
妊娠したっていわれた、でも…
SNSで…
個人情報おっっちゃった…
毒親からにげたい
日には確認してね

毎週一回 15時～18時
弁護士(法律に詳しい人)と話すことができます。お金や予約はいりません。

法テラス × きみまも

周知用ポスター

連携による対応事例

事業開始当初から継続的にきみまもを利用してきた20代前半の男性が、
オーバードーズによる入院もあって精神的に疲弊
所持金が乏しく、宿泊場所もなく、借金があり、不安と恐怖を訴えてきた

きみまもの相談スタッフと法テラス弁護士が共同で相談支援

- ・ 相談員が、自治体の生活福祉課・更生施設・精神科に同行
- ・ 借金については、法テラス弁護士が債務整理へ向けて調整
- ・ その後は相談員・ケースワーカー・弁護士で連携しつつ継続支援

その他、これまでに法テラス弁護士が対応してきた主な事例

- ・ 金銭トラブル（身に覚えのないクレジットカード請求など）に関する助言
- ・ 友人間のトラブルに関する助言
- ・ 生活保護受給・債務整理に関する情報提供（法律相談へ進展）
- ・ 利用者が受けた虐待・人権侵害疑いについて相談スタッフに助言

きみまもを中心とする支援ネットワーク

若者の多様かつ複合的な困難に対応するため、各分野の公的機関や民間団体のネットワーク化を進めており、**法テラス**もその中で欠かせない一員となっている

個別の相談対応に加えて、**会議開催・情報共有**や**スタッフ研修**、**イベント**などでも協力



現場では、「弁護士が定期的にいってくれることは心強い」「困難な例でも支援につながるケースが増えた」など、法テラスとの連携を高く評価

きみまもと法テラスについて（まとめ）

- 繁華街に集まる若者の多くは、生きづらさや様々な困難を抱えながらも人とのつながりを求めており、居場所相談に対するニーズは高い。
- きみまも@歌舞伎町は、若者にとって安心してひと息つける場であり、支援につながるスロープをかける窓口として、一定の役割を果たしている。
- 東京都＝きみまもと法テラスは、今回の連携を通じて、「支援につながりづらい若者を必要な法的支援につなげる（スロープをかける）ための新たなアプローチ」を一緒に作り上げつつある。

東京都は、今後も法テラスとの連携の継続・拡大を希望

また、歌舞伎町の若者は都内各地や全国から集まってきており、困難を抱える若者は広く存在している（**ト一横の問題はト一横だけでは解決しない**）

⇒ **得られた知見の共有と、さらなる連携の広がりが必要**

※ 東京都は、同様の課題に取り組む大阪市や福岡県とも協力